

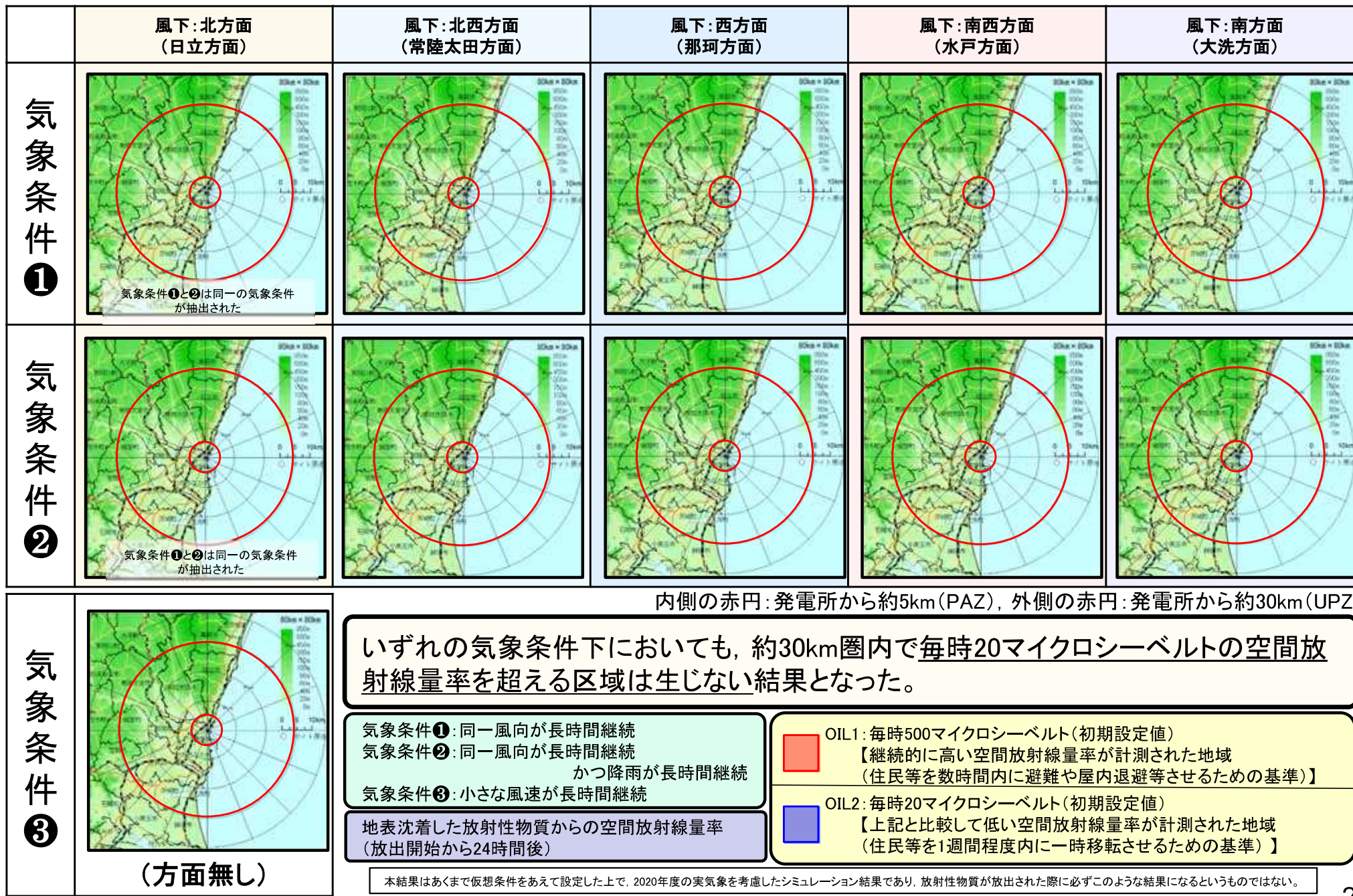
# 4. 拡散シミュレーションの評価結果等

## (1) 国の審査において妥当性が確認された重大事故等対処設備が機能する場合

資料 4

### ④ 評価結果

### シミュレーション I



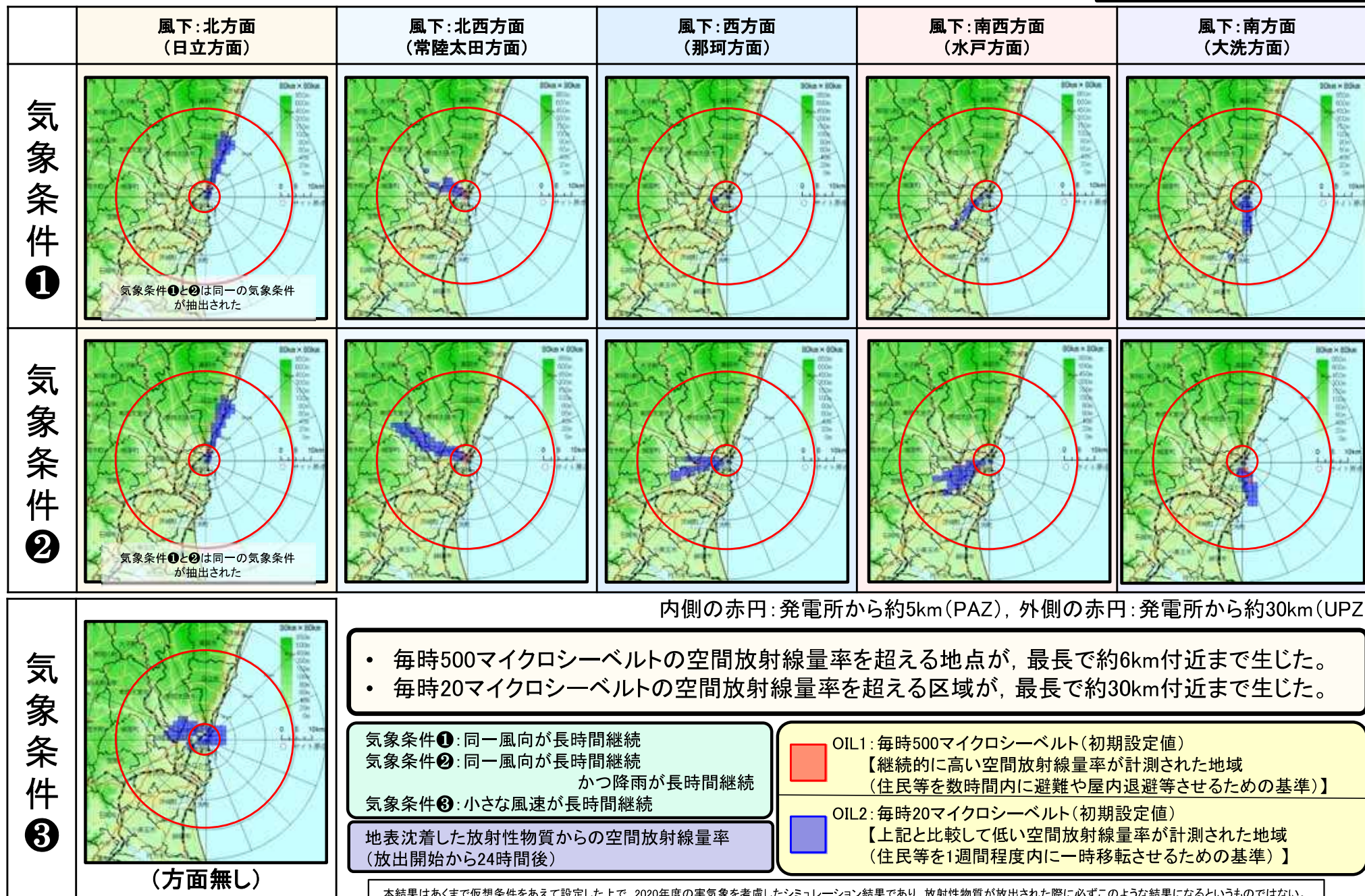
本結果はあくまで仮想条件をあえて設定した上で、2020年度の実気象を考慮したシミュレーション結果であり、放射性物質が放出された際に必ずこのような結果になるというものではない。

#### 4. 拡散シミュレーションの評価結果等

(2) 30km周辺まで避難・一時移転の対象となる区域が生じるように仮想条件をあえて設定した場合

②評価結果(評価システム及び気象条件はシミュレーション I と同じものを使用)

シミュレーション II



本結果はあくまで仮想条件をあえて設定した上で、2020年度の実気象を考慮したシミュレーション結果であり、放射性物質が放出された際に必ずこのような結果になるというものではない。

(参考)「シミュレーションⅡ」のケースにおける一時移転対象人数について

茨城県原子力安全対策課

**【注】この試算はある前提を置いた場合の結果であり、他の条件の場合には異なる結果となるものであることに留意。**

「東海第二発電所 拡散シミュレーションの実施結果について」における評価結果のうち、「30km 周辺まで避難・一時移転の対象となる区域が生じるように仮想条件をあえて設定した場合（シミュレーションⅡ）」において生じた毎時 20 マイクロシーベルトの空間放射線量率を超える区域を基に、県において当該シミュレーション結果の場合における一時移転の対象人数を試算した結果は下記のとおり。

**【算出方法】**

- ・ 拡散シミュレーション結果で表示された、空間放射線量率が毎時 20 マイクロシーベルトを超えた区域内に存する、避難や一時移転を判断するためのモニタリングポストに紐づけられている各避難単位に一時移転指示が出されるものとし、その人口を合計した。（各避難単位の人口は 2020 年国勢調査結果に基づく。）

※なお緊急時モニタリングにおいては、空間放射線量率が基準値未満の地域についても必要に応じて走行サーベイ等による測定が実施されるため、下記の一時的移転対象人数は変わりうる。

**【試算結果】**

- ・ 各方面における UPZ 内の一時的移転対象人数

| 方面      | 気象条件   | 対象人数計（人） | 市町村ごとの内訳（人）                                |
|---------|--------|----------|--------------------------------------------|
| 風下：北方面  | 気象条件①② | 92,085   | 日立市 92,085                                 |
| 風下：北西方面 | 気象条件①  | 11,559   | 那珂市 3,342<br>常陸太田市 8,217                   |
|         | 気象条件②  | 43,448   | 那珂市 13,000<br>常陸太田市 10,341<br>常陸大宮市 20,107 |
| 風下：西方面  | 気象条件①  | 0        | 0                                          |
|         | 気象条件②  | 64,790   | 那珂市 38,078<br>ひたちなか市 26,712                |
| 風下：南西方面 | 気象条件①  | 82,455   | ひたちなか市 23,464<br>水戸市 58,991                |
|         | 気象条件②  | 105,191  | 那珂市 33,582<br>ひたちなか市 71,609                |
| 風下：南方面  | 気象条件①  | 19,270   | ひたちなか市 19,270                              |
|         | 気象条件②  | 0        | 0                                          |
| （方面無し）  | 気象条件③  | 18,089   | 那珂市 9,872<br>常陸太田市 8,217                   |

- ・ 上記のほか、全面緊急事態で予防的に避難する PAZ の人口は 64,451 人。